

福祉現場の大変さとやりがいを知りました 平成21年度「夏・福祉体験ワークキャンプ」

8月6日、市内の福祉施設などで「夏・福祉体験ワークキャンプ」が開催され、市内の中高校生7人が参加しました。このワークキャンプは、福祉現場での体験を通して社会福祉への関心を高めてもらおうと、白石市社会福祉協議会が平成6年から開催しています。参加者は、障害者とのふれあい体験や盲導犬と視覚障害に関する学習体験などを通して、ボランティア活動の大変さや大切さ、やりがいを学んでいました。参加した生徒からは「このキャンプに参加する前と後では、ボランティア活動への意識が大きく変わりました」などの声が聞かれました。



▲目隠しをして盲導犬との歩行を体験する生徒

交通事故ゼロへの願いを込めて 交通安全“ひと休み運動”

8月7日、アテネ駐車場での夏の交通事故防止キャンペーン「ひと休み運動」が行われました。このキャンペーンは、お盆休みなどで長時間の運転が多くなりがちなこの季節に、無理のない運転を心掛けて交通事故を防止しようと、白石地区交通安全協会白石支部と白石警察署が協力して毎年行っています。

雨の中での開催となった今年は、交通安全協会などの会員約50人が参加しました。冷たい飲み物やチラシなどを配り安全運転を呼び掛ける参加者に、ドライバーも笑顔で答えていました。



▲飲み物やチラシを配り安全運転を呼び掛ける会員

侍大将編は難しい! SHIROISHIマイスター「白石ものしり博士」検定試験



▲真剣な面持ちで問題に取り組む受験者の皆さん

中央公民館で7月26日、SHIROISHIマイスター「白石ものしり博士」検定試験を開催しました。

2回目の開催となった今年の検定試験は、50問の三択問題のうち40問に正解すれば合格。侍大将編(中級)には、昨年の試験で足軽編(初級)に合格した10人が、足軽編には18人が挑戦しました。侍大将編を受験した皆さんは、「難しい問題ばかりだった」と口をそろえて語っていました。採点の結果、足軽編は受験した18人全員が合格。侍大将編は10人中5人が合格しました。来年は家老編(上級)も実施する予定です。

いつでも安心して遊べる公園であるように 市内公園等遊具一斉点検を実施しました!



▲真剣な表情でつくし公園のブランコを点検する参加者

7月18日、市内の公園に設置されている滑り台やブランコなどの遊具を一斉に点検する「市内公園等遊具一斉点検」を実施しました。この一斉点検は、大人の目線で遊具の安全性に関心を持っていただくことを目的に実施し、当日はあいにくの雨にもかかわらず、母親クラブや各公園の愛護団体、子ども会育成会連合会などから約80人が参加し、9つの班に分かれて市内28カ所の公園の遊具を点検しました。

これからも子どもたちが安心して遊べる公園を維持できるように、安全な環境づくりに取り組んでいきます。

地域の友達と楽しく遊ぼう! 白石第二小学校「インリーダー研修会」

7月22日、中央公民館で白石第二小学校区子ども会育成会(吉田隆夫会長)の主催で、「インリーダー研修会」が開催されました。

インリーダーとは、地区の小学生リーダーのことです。地区の子ども会活動の活性化を図り、地区のリーダーを育成することで、子ども同士の結び付きを強くすることがこの研修会の狙いです。5・6年生と保護者など、約60人が参加した研修会は、レクリエーションサークルの関東香代子さんやジュニアリーダーの中学生たちの指導で、簡単にできるゲームの講習を行いました。



▲伝言ゲーム「クマさんが来たぞ」スピードで勝負!

交流は楽しく・試合は真剣勝負! 登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流「軟式野球大会」



▲Bチーム山田悠人くんのスライディングは見事セーフ

7月25日と26日の両日、姉妹都市である北海道登別市を本市の小学生24人が訪問し、少年スポーツ交流を目的とした「野球大会」が開催されました。26日の大会では、2試合とも手に汗握る熱戦が繰り広げられました。結果はAチームが3対0で勝利、Bチームが7対16で敗退し、通算1勝1敗の成績でした。敗れたBチームの中には、悔しくて泣き出す選手もいるほど、真剣に試合に臨んでいました。また、子どもたちはホームステイ先の各家庭から大歓迎を受け、登別温泉での入浴や市内見学など、北海道の夏を満喫していました。

大自然の中での遊びを楽しみました! 第二児童館「夏のレクリエーション」



▲大自然の中で大喜びで遊ぶ子どもたち!

7月28日、第二児童館が主催する「夏のレクリエーション」を、蔵王町の宮城県蔵王自然の家で行いました。

このイベントは第二児童館の夏休み恒例の行事として、毎年開催しています。放課後児童クラブの小学1年生から6年生までの70人と、お手伝いの保護者など合わせて90人余りが参加しました。「であいのつどい」の後、30分ほどかけて澄川へ移動。沢遊びを行いました。水着に着替えた子どもたちは、清流の冷たさも何するものと、みんな大喜びで川の中に駆け出し、大自然の中での遊びを思いっきり楽しみました。

明るく 強く うるわしく 世界に響け白女の歌声 白女合唱祭

7月18日、白女合唱祭が名取市文化会館で開催されました。体育祭と文化祭と並んで白女3大祭りの合唱祭は、昭和43年に第1回を開催し今年41年目を迎える歴史ある行事です。来年、白石高校との統合により、白石女子高校としての合唱祭は今年が最後。各クラスとも最後の大会でグランプリを獲得しようと、土曜日、日曜日も含めて熱心な練習を自主的に行いました。

審査の結果、四国地方のわらべ歌「四国ばやし」を自由曲とした3年4組がグランプリを獲得し、体育祭に続いて2つのタイトルを手に入れました。



▲グランプリを獲得した3年4組の合唱の様子